



2021年7月26日

各 位

会 社 名 日本精線株式会社
 代表者名 代表取締役社長 新貝 元
 (コード番号 5659 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 長澤 修一
 (TEL 06-6222-5432)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年7月26日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2021年4月27日に公表した連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	20,000	1,900	1,900	1,330	216.85
今回修正予想 (B)	21,500	2,350	2,350	1,640	267.40
増減額 (B-A)	1,500	450	450	310	
増減率 (%)	7.5	23.7	23.7	23.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	15,391	896	1,044	732	119.39

2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	39,000	3,500	3,500	2,450	399.46
今回修正予想 (B)	42,000	4,200	4,200	2,940	479.36
増減額 (B-A)	3,000	700	700	490	
増減率 (%)	7.7	20.0	20.0	20.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	34,108	2,380	2,602	1,825	297.66

修正の理由

車載用半導体不足による自動車減産や過剰発注による流通在庫調整などのリスクシナリオを想定し、ステンレス鋼線の販売数量についてはコロナ禍以前の水準まで回復する前提で予想しましたが、主な需要先である自動車関連及び建材用途の販売数量をはじめ幅広いアイテムの製品の販売が好調に推移しており、当初の業績予想を上回る需要の強さを確認しました。想定以上の数量増加によって、粗利増加及び操業度損圧縮の効果を見込んでおります。また、太陽光発電パネルや電子部品の製造プロセスで使用されるスクリーン印刷向け極細線や半導体関連業界向け超精密ガスフィルター(NASclean®)など、高機能・独自製品の販売も当初想定どおり堅調な推移を見込んでおります。

この結果、売上高及び損益が前回公表しました業績予想を上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2021年4月27日発表)	80円00銭	80円00銭	160円00銭
今回修正予想	100円00銭	100円00銭	200円00銭
当期実績	—		
前期実績 (2021年3月期)	40円00銭	70円00銭	110円00銭

修正の理由

当期の配当金につきましては、業績予想等を勘案し、2021年4月27日に公表しました前回予想から第2四半期末配当金を1株につき20円増配し、1株当たり100円といたします。また、期末配当についても1株につき20円増配し、1株当たり100円に修正いたします。

(注)上記の業績予想及び配当予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により上記予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上